

=====

** 日本学術会議ニュース・メール ** No.839** 2023/4/28

=====

1. 【開催案内】 公開シンポジウム「人間・AI 共創時代における価値創造経営教育」
2. 【二次募集のご案内】 観光庁：ポストコロナに向けた国際会議誘致競争力向上事業
3. 【国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）】
科学技術イノベーションで SDGs に貢献！
2023 年度「STI for SDGs」アワード募集のお知らせ
4. 【国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）】
「SDGs の達成に向けた共創的研究開発プログラム（SOLVE for SDGs）
シナリオ創出フェーズ・ソリューション創出フェーズ」公募のお知らせ



【開催案内】 公開シンポジウム
「人間・AI 共創時代における価値創造経営教育」



【主催】 日本学術会議経営学委員会
【共催】 早稲田大学 マーケティング・コミュニケーション研究所、
早稲田大学 総合研究機構、サービス学会
【日時】 2023 年 6 月 4 日（日）13 時 30 分～17 時 00 分
【場所】 早稲田大学 小野記念講堂（対面とオンラインのハイブリッド開催）
【参加費】 無料
【定員】 200 名
【事前申込み】 要
申込フォーム：<https://forms.gle/tyNjY8fn4aNkGafj9>
【開催趣旨】 日本においては、人口減少・少子高齢化、地球環境問題に直面した
経済成熟化社会と ChatGPT 等生成 AI に代表される人工知能システムの活用の中で、
組織や企業の経営は、大きな変曲点におかれています。本公開シンポジウムでは、
このような社会変革期における組織・企業の経営に対して、新しい経営教育を提案
し、
AI を活用した高度デジタル社会における社会持続性のある価値を創造する人材育成
や
教育方法等を討議します。
【プログラム】 <https://www.scj.go.jp/ja/event/2023/343-s-0604.html>
【問い合わせ先】
京都大学 経営管理大学院 徳山

メールアドレス： tokuyama.yoko.7m@kyoto-u.ac.jp



【二次募集のご案内】観光庁：ポストコロナに向けた国際会議誘致競争力向上事業



観光庁では、国際会議に伴うユニークベニューの活用、エクスカーション/テクニカル
ル
ビジット及び地域参加プログラム等の実施を通し、「訪日現地参加者数と一人あたりの
消費額の増加による経済効果の拡大」、「自治体の枠を越えた広域連携による開催地の
更なる魅力の創出」、「開催地ステークホルダーとの連携・参画促進によるレガシーの
創出」を目的とした国際会議プログラムの実証を行っておりますが、この度、国内
参加者の要件を緩和し、2次募集を実施することになりました。

【実証経費上限】

- ・「ユニークベニューの活用」部門：900万円
- ・「エクスカーション/テクニカルビジット等の実施」部門：300万円
- ・「地域参加プログラム等の実施」部門：300万円

【対象となる国際会議】

- ・対象期間：令和5年7月31日から12月末日までに会期が終了すること
- ・開催期間：2日以上
- ・参加人数：少なくとも2つの国/地域から50名以上の国外居住者が現地参加すること

※国内参加者の要件を緩和し、国外からの参加者が50名以上であれば応募可能となりました。

※日本国政府が単独で主催する会議、及び企業が主催する会議は対象外

【応募期限】

令和5年6月30日(金) 17:00

【募集要項】

募集要項、申請書等、詳細は以下のホームページをご参照ください。

観光庁ホームページ

https://www.mlit.go.jp/kankocho/page09_000001_00019.html

【ご参考】

一次募集の選定案件を、下記のページにて公開しております。

https://www.mlit.go.jp/kankocho/page09_000001_00017.html

【観光庁担当者】

観光庁 MICE 室 伊藤／佐藤／坂東

E-mail: hqt-jp-mice@ki.mlit.go.jp

電話：03-5253-8938

■-----
【国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）】

科学技術イノベーションで SDGs に貢献！

2023 年度「STI for SDGs」アワード募集のお知らせ

-----■
JST（社会技術研究開発センター）は、科学技術イノベーション（Science, Technology and Innovation：STI）を用いて社会課題を解決する優れた取り組みを対象とした表彰制度“「STI for SDGs」アワード”の2023年度の募集を開始しました。

このアワードは、国内の団体によって行われている優れた取り組みを見出し表彰することで、取り組みのさらなる発展や、同じような課題を抱える地域でも広く活用できるよう展開を進めることを通じて、SDGsの達成に貢献することを目的としています。

2030年に向けた折り返しの時期となった現在でも、SDGsの進捗は決して芳しいものではありません。目標達成のためには、科学技術の力でより大きな社会変革を起こしていく必要があります。このことから、今年度からは応募要件の一部を拡張し、国内の団体が海外で行っている活動も対象としました。変革を推進するためのトレードオフ解消や、SDGsの具体的なターゲットを意識した取り組みのご応募も歓迎します。

幅広い分野で社会課題の解決に取り組まれている皆様からのご応募をお待ちしています。

<「STI for SDGs」アワード 公募詳細について>

●募集期間： 2023年4月25日(火)～ 7月11日(火)

●制度詳細： これまでの受賞取り組み内容も、こちらをご覧ください。

<https://www.jst.go.jp/sis/co-creation/sdgs-award/>

●応募要領詳細：

https://www.jst.go.jp/sis/co-creation/sdgs-award/2023/boshu_award_2023.html

●後援： 文部科学省

<本件のお問い合わせ先>

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

社会技術研究開発センター（RISTEX）

「STI for SDGs」アワード事務局

E-mail：sdgs-award※jst.go.jp（※を@に変更して送信して下さい）

■-----

【国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）】

「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（SOLVE for SDGs）

シナリオ創出フェーズ・ソリューション創出フェーズ」公募のお知らせ

-----■
JST（社会技術研究開発センター）では、現在、SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム SOLVE for SDGs（シナリオ創出フェーズ・ソリューション創出フェーズ）の公募を行っています。

本プログラムでは、SDGs達成への貢献に向け、地域が抱える具体的な社会課題に対して、研究代表者と地域で実際の課題解決にあたる協働実施者が共同で、既存の技術シーズの活用による即効性のある解決策を創出することを目指しています。詳細については、下記サイトでご確認ください。

<SOLVE for SDGs 公募詳細について>

●募集期間：2023年4月6日(木)～6月7日(水)正午

●制度詳細 URL：https://www.jst.go.jp/ristex/proposal/proposal_2023.html

※他の領域・プログラムの公募についても上記サイトでご覧いただけます。

<本件のお問い合わせ先>

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

社会技術研究開発センター（RISTEX）

「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム」事務局

シナリオ創出フェーズ・ソリューション創出フェーズ担当

E-mail：boshusolve※jst.go.jp（※を@に変更して送信して下さい）

日本学術会議 YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCV49_ycWmnfhNV2jgePY4Cw

日本学術会議公式 Twitter

https://twitter.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行：日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34